【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【公表番号】特表2011-504733(P2011-504733A)
【公表日】平成23年2月17日(2011.2.17)
【年通号数】公開・登録公報2011-007
【出願番号】特願2010-535287(P2010-535287)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｂ　13/00　　(2006.01)
Ａ２４Ｂ　15/10　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｂ　13/00
Ａ２４Ｂ　15/10

【手続補正書】
【提出日】平成24年6月1日(2012.6.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
経口摂取のための溶解可能圧縮タバコ製品であって、
（ａ）３０重量％から５０重量％の少なくとも１つのタバコ成分、
（ｂ）１重量％から１５重量％の少なくとも１つの香味料、
（ｃ）５重量％から３５重量％の少なくとも１つの充填剤－結合剤、
（ｄ）１重量％から３重量％の少なくとも１つの甘味料、
（ｅ）１重量％未満の少なくとも１つの潤滑剤、
（ｆ）少なくとも１つの乾燥剤、
（ｇ）１重量％未満の少なくとも１つの流動促進剤、及び
（ｈ）少なくとも１つの脂質、
を含む組成物から形成される、
ことを特徴とする製品。
【請求項２】
前記少なくとも１つの脂質は、圧縮タバコ製品マトリックス内に注入されることを特徴とする請求項１に記載の圧縮タバコ製品。
【請求項３】
前記少なくとも１つの脂質は、圧縮タバコ製品の表面上にシェルコーティングを形成することを特徴とする請求項１に記載の圧縮タバコ製品。
【請求項４】
タブレットの形態であることを特徴とする請求項１に記載の圧縮タバコ製品。
【請求項５】
香料、着色剤、及び保存料の群から選択された１つ又はそれよりも多くの添加剤を更に含むことを特徴とする請求項１に記載の圧縮タバコ製品。
【請求項６】
溶解可能圧縮タバコ製品を作る方法であって、
（ａ）粉砕または粉末状の少なくとも１つのタバコ成分、少なくとも１つの香味料、少なくとも１つの充填剤－結合剤、少なくとも１つの甘味料、少なくとも１つの潤滑剤、少

なくとも１つの乾燥剤、及び少なくとも１つの流動促進剤の混合物を形成する段階、
（ｂ）前記混合物をダイに圧縮して圧縮タバコ製品を形成する段階、及び、
（ｃ）前記圧縮タバコ製品に少なくとも１つの脂質を注入する段階を含むことを特徴とする方法。
【請求項７】
少なくとも１つの脂質を含むシェルコーティングを前記圧縮タバコ製品の表面上に形成する段階を更に含むことを特徴とする請求項６に記載の方法。
【請求項８】
前記圧縮タバコ製品に少なくとも１つの脂質を注入する前記段階は、該少なくとも１つの脂質を含有する油浴に該圧縮タバコ製品を置く段階と、該圧縮タバコ製品の割れ目空間を該少なくとも１つの脂質で充填する段階と、該圧縮タバコ製品を加熱する段階とを含むことを特徴とする請求項６に記載の方法。
【請求項９】
前記圧縮タバコ製品に少なくとも１つの脂質を注入する前記段階は、粉末状タバコ積層体と少なくとも１つの脂質とを含む混合物を形成する段階と、粉末状タバコ積層体と少なくとも１つの脂質との該混合物を加熱する段階と、該加熱した混合物を段階（ａ）の前記混合物に追加する段階とを含むことを特徴とする請求項６に記載の方法。
【請求項１０】
前記混合物は、ｐＨ調整剤を更に含むことを特徴とする請求項６に記載の方法。
【請求項１１】
前記少なくとも１つの香味料は、ペパーミント、茶、カカオ、スパイス、アーモンド、バニラ、ラム、アマレット、ブランデー、又はこれらの混合物を含むことを特徴とする請求項６に記載の方法。
【請求項１２】
前記少なくとも１つの充填剤－結合剤は、微結晶性セルロース、スプレー処理ラクトース、無水リン酸二カルシウム、スプレー処理スクロース、スプレーマルトデキストリン、又はこれらの混合物を含むことを特徴とする請求項６に記載の方法。
【請求項１３】
前記圧縮タバコ製品は、タブレットの形態であることを特徴とする請求項６に記載の方法。
【請求項１４】
前記混合物は、甘味料、香料、着色剤、及び保存料の群から選択された１つ又はそれよりも多くの添加剤を更に含むことを特徴とする請求項６に記載の方法。
【請求項１５】
前記混合物は、前記少なくとも１つのタバコ成分と少なくとも１つの香味料との第１の水性混合物を形成する段階と、前記少なくとも１つの充填剤－結合剤と、前記少なくとも１つの潤滑剤と、前記少なくとも１つの流動促進剤との第２の水性混合物を形成する段階と、該第１及び第２の混合物を組み合わせる段階とによって調製されることを特徴とする請求項６ないし１４のいずれか１つの請求項に記載の方法。